

<参考資料>

1 世界獣医学大会について

世界70の国と地域の獣医師会が共同して年に1回開催する、獣医学に関する学会です。

2 全国公衆衛生獣医師協議会について

獣医公衆衛生に関する調査研究・技術の研鑽を行うことで、公衆衛生獣医師の資質向上と公衆衛生行政に寄与することを目的とした団体。厚生労働省はじめ、全国自治体に勤務する獣医師（およそ3,900名）で構成されています。

3 今回発表する研究の概要

ヒトの感染症で使われる抗菌薬の量を減らすだけでは、抗菌薬が効きにくい菌（耐性菌）がなかなか減少しないため、ヒトでの対策に加えて動物や環境を含めた包括的な対策が求められています。

そこで、県内の犬猫・ヒト・河川水から検出された薬剤耐性大腸菌を解析して、それらの関係性を調査したところ、以下のことが明らかとなりました。

- ・ヒトから犬猫に耐性菌が広がっている可能性があること
- ・薬剤耐性の性質を菌同士で受け渡しする遺伝子が、ヒト・犬猫・河川水の耐性菌から共通して見つかること

薬剤耐性菌対策は、医療機関や動物病院での抗菌薬適正使用の推進だけでなく、耐性菌やその遺伝子がペットや水環境中に拡がらないよう留意する必要があります。

4 薬剤耐性菌の減少に向けた対策について

医療機関や動物病院では、抗菌薬適正使用の推進の取り組みや啓発が進められています。県民の皆さんも、自分自身や家族、ペットが感染症に罹患した際に、必要以上の抗菌薬処方を求めない（風邪には抗菌薬が効きません）ことや、処方された抗菌薬は指示通り服用すること等、一人ひとりが出来る範囲で御協力をお願いいたします。